

令和2年度決算概要

—— 街に、ルネッサンス ——

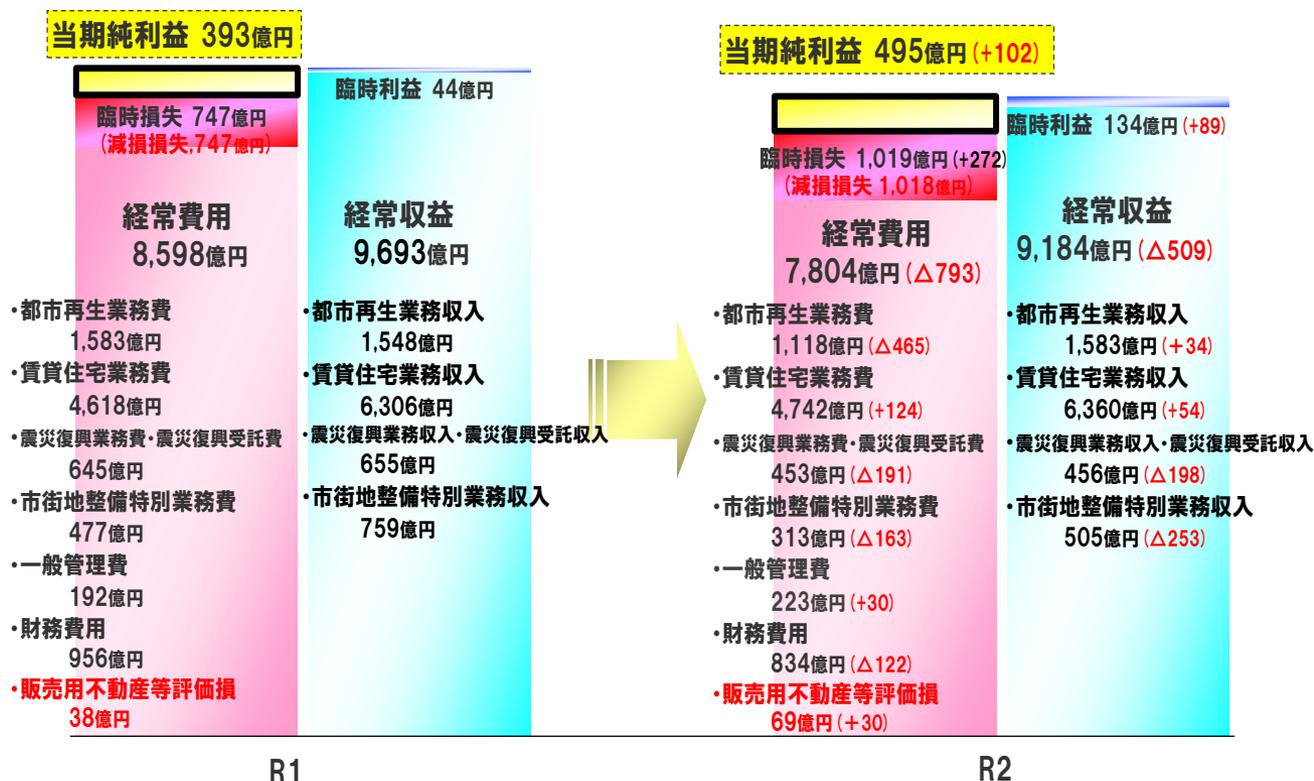


UR都市機構

1. 経営成績(損益の状況)

(1) 法人全体

令和2年度は、経常収益を9,184億円(対前年度△509億円)、経常利益を1,380億円(対前年度+284億円)計上。臨時損失を1,019億円計上した結果、**495億円の当期純利益**を計上。



(※)単位未満切捨て

1. 経営成績(損益の状況)

(2)セグメント別



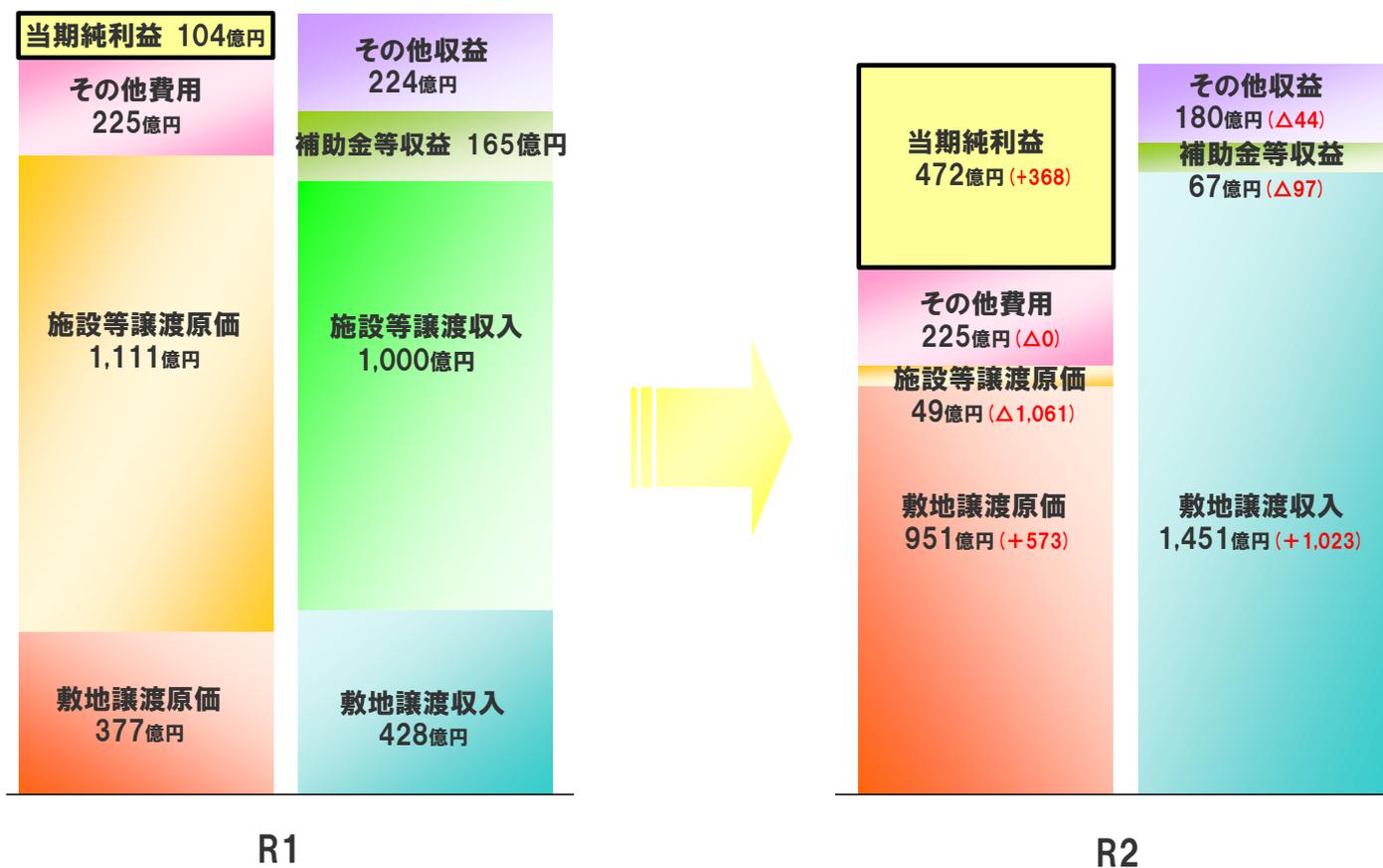
(※) 単位未満切捨て

公園特別セグメントについては、令和2年度の取引実績なし。

1. 経営成績(損益の状況)

(3) 都市再生

都市再生セグメントは、敷地譲渡収入を1,451億円計上。大型譲渡案件の引渡を着実に進めたこと等により、**472億円の当期純利益**を計上。

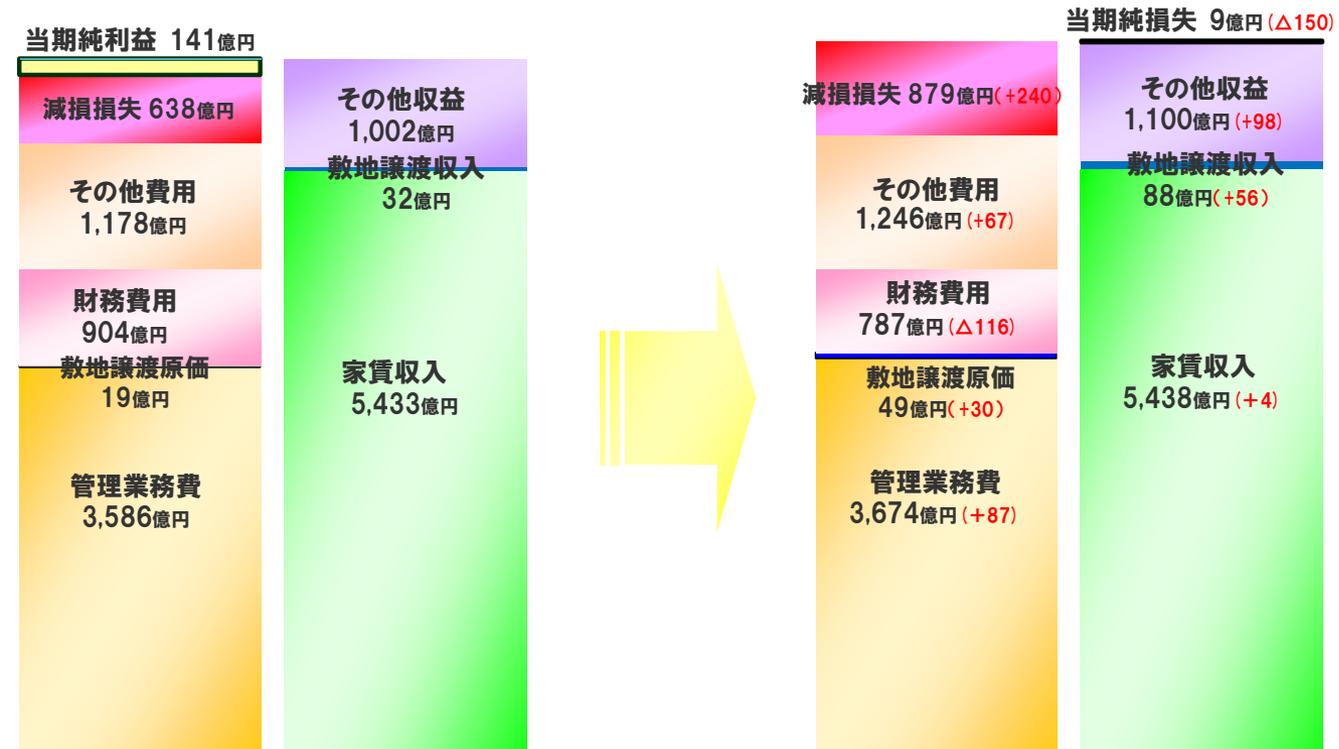


(※)単位未満切捨て

1. 経営成績(損益の状況)

(4) 賃貸住宅

賃貸住宅セグメントは、投資等によるストックの良質化を進めつつ、営業活動の強化を図り収益の確保に努めたことにより、家賃収入を5,438億円計上した一方、ストック再生の推進に伴う減損損失の計上により、**9億円の当期純損失**となった。



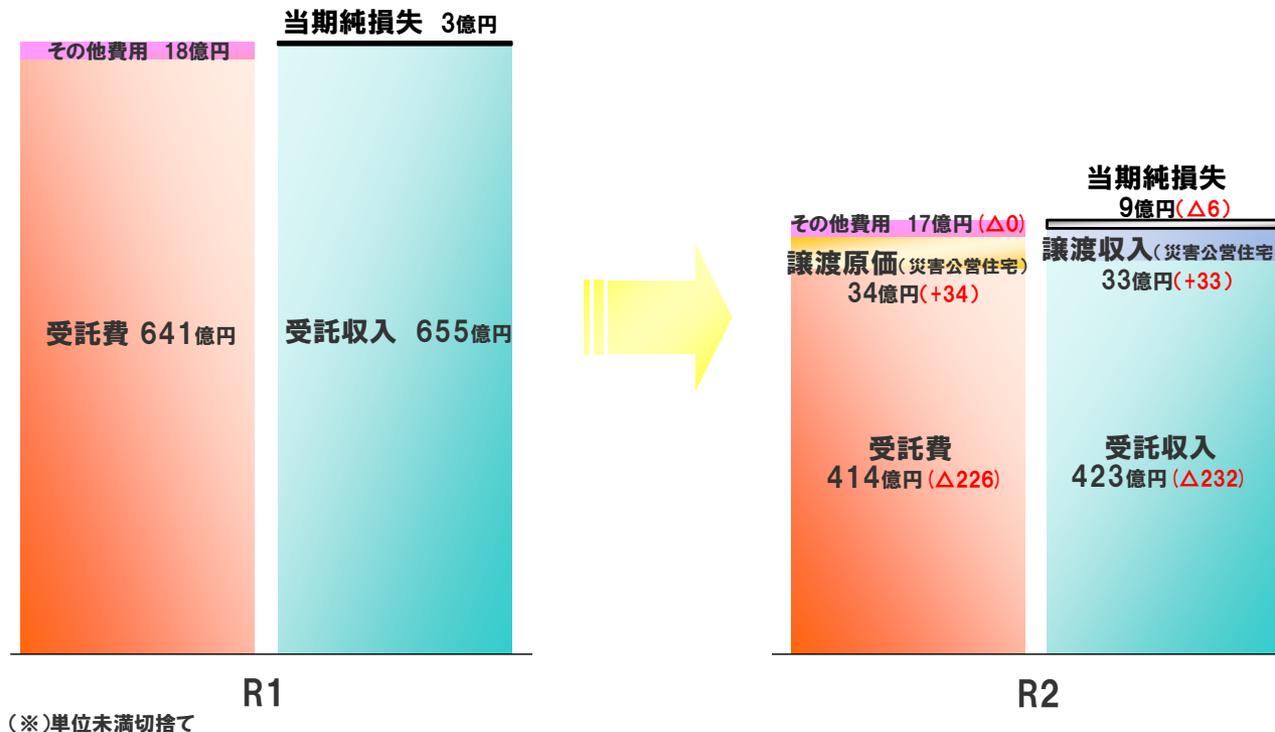
(※)単位未満切捨て R1

R2

1. 経営成績(損益の状況)

(5) 震災復興

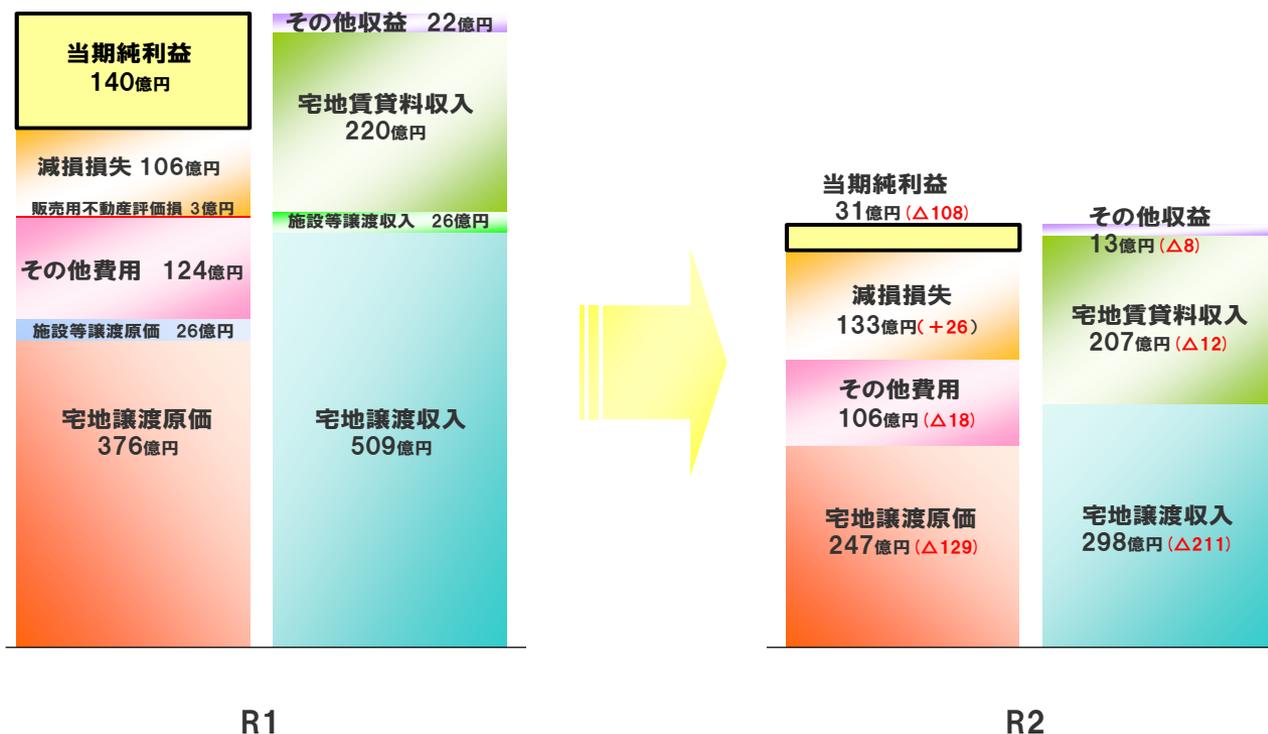
震災復興セグメントは、災害公営住宅の引渡を完了。住宅譲渡収入と復興市街地整備に伴う受託収入を合わせて456億円計上したが、**9億円の当期純損失**を計上。



1. 経営成績(損益の状況)

(6)市街地特別

市街地特別セグメントは、賃貸宅地資産の圧縮に努めたことによる宅地譲渡収入を298億円計上、また、宅地賃貸料収入を207億円計上した結果、**31億円の当期純利益**を計上。

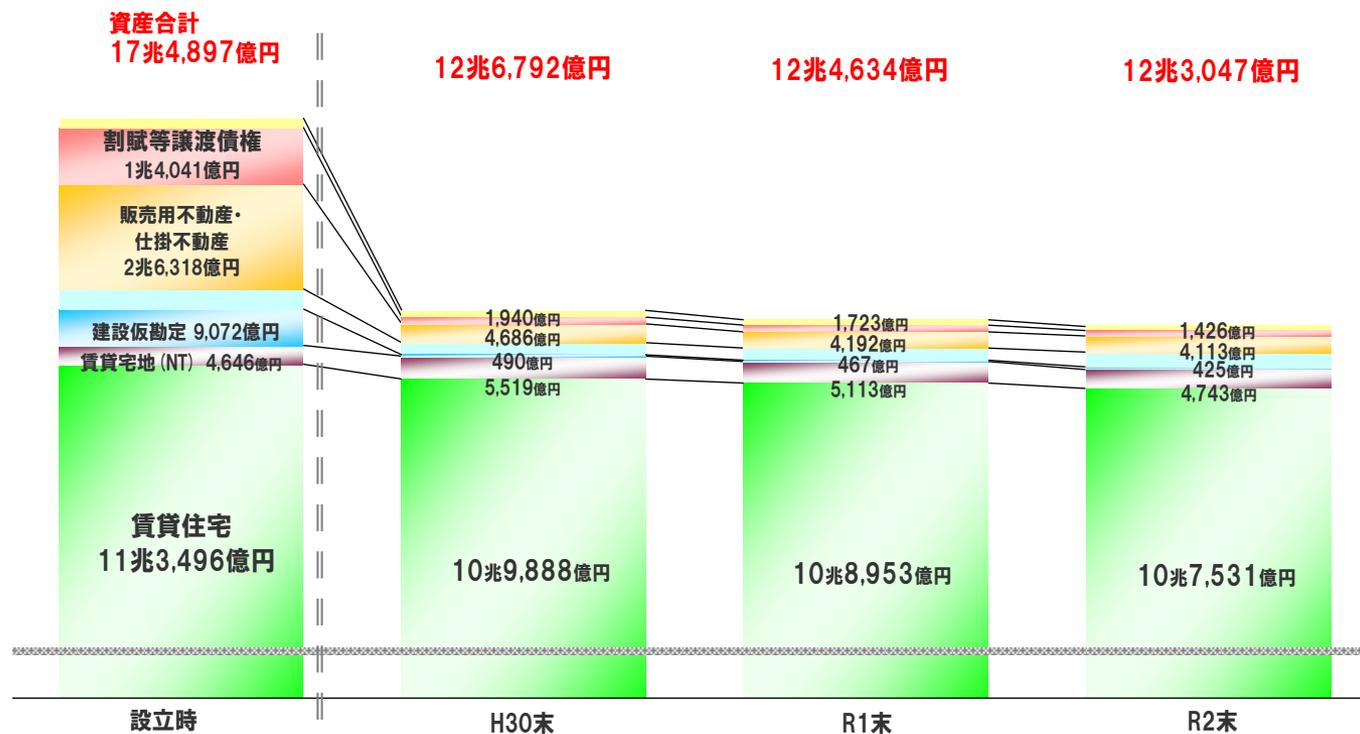


(※)単位未満切捨て

2. 財政状態

(1) 資産の状況

総資産は、減価償却、減損、保有資産の譲渡等により、前年度末に比べ約1,600億円減少し、約**12.3兆円**。

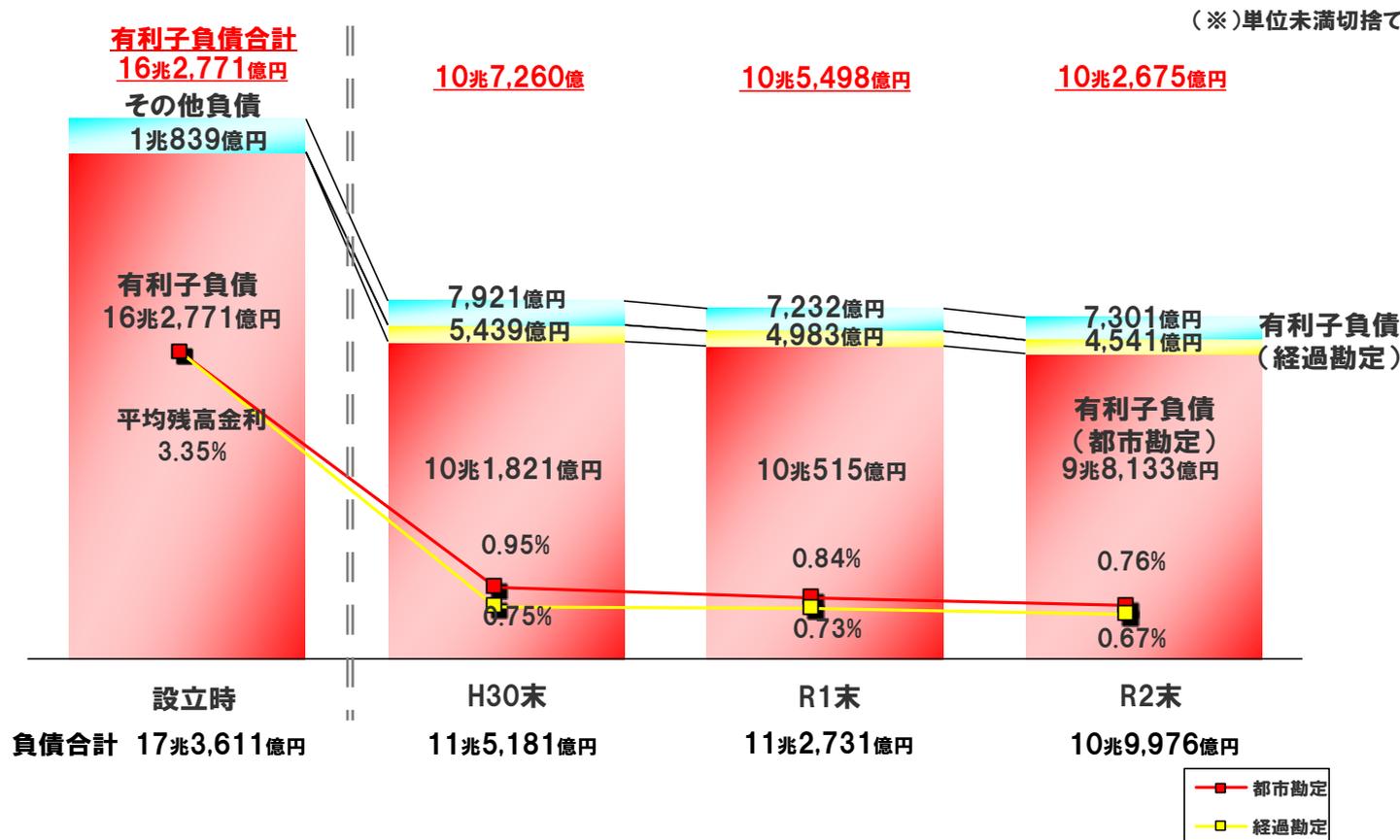


(※)単位未満切捨て

2. 財政状態

(2) 負債の状況

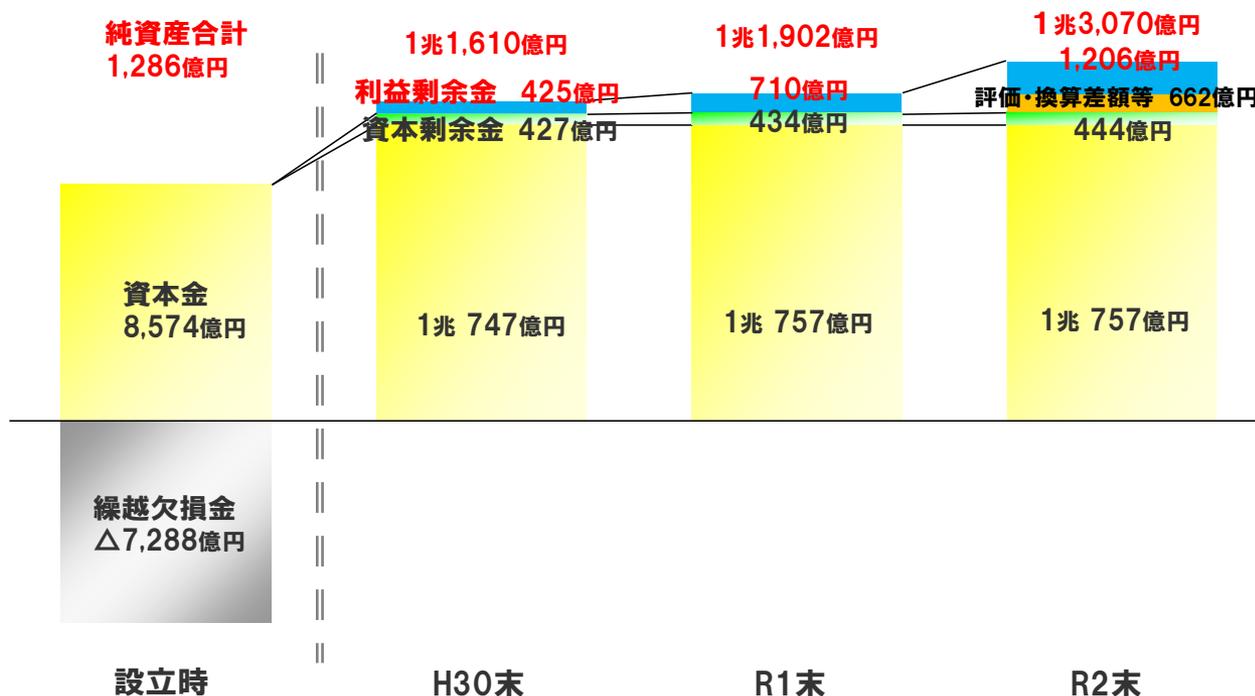
有利子負債は、当年度においても着実に削減を進め、前年度末に比べ約2,800億円減少し、**約10.2兆円**。



2. 財政状態

(3) 純資産の状況

平成30年度に繰越欠損金を解消。当年度も当期純利益を495億円計上した結果、利益剰余金を**1,206億円**計上。



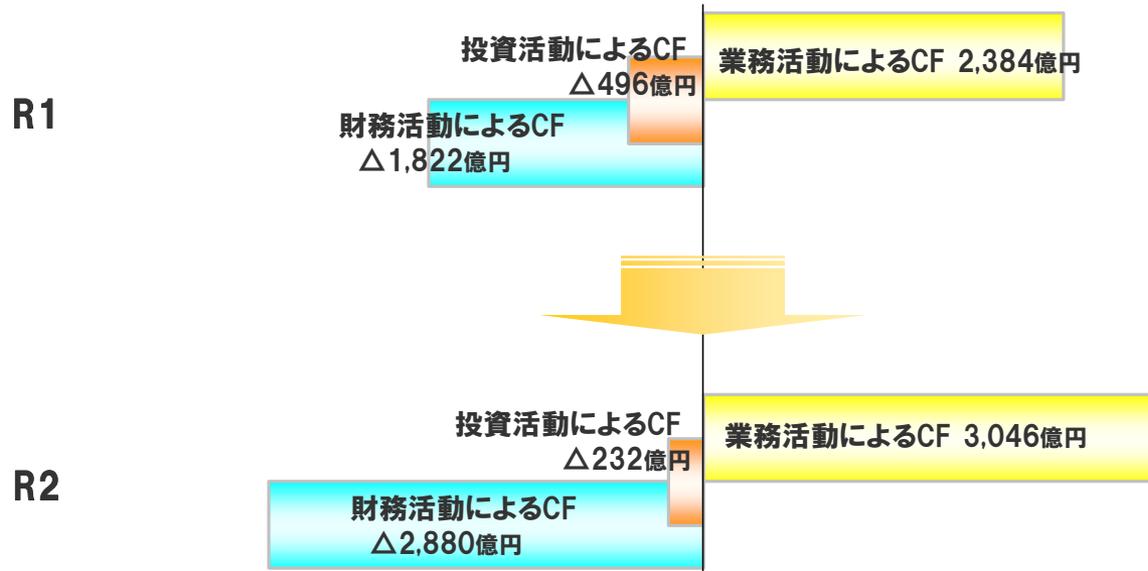
(※)単位未満切捨て

- ・令和元年度に、利益剰余金を原資として約107億円を国庫等に納付している。
- ・「評価・換算差額等」は、独立行政法人会計基準改訂により、「関係会社株式」の評価方法が変更となったことに伴って計上された。

2. 財政状態

(4) キャッシュ・フローの状況

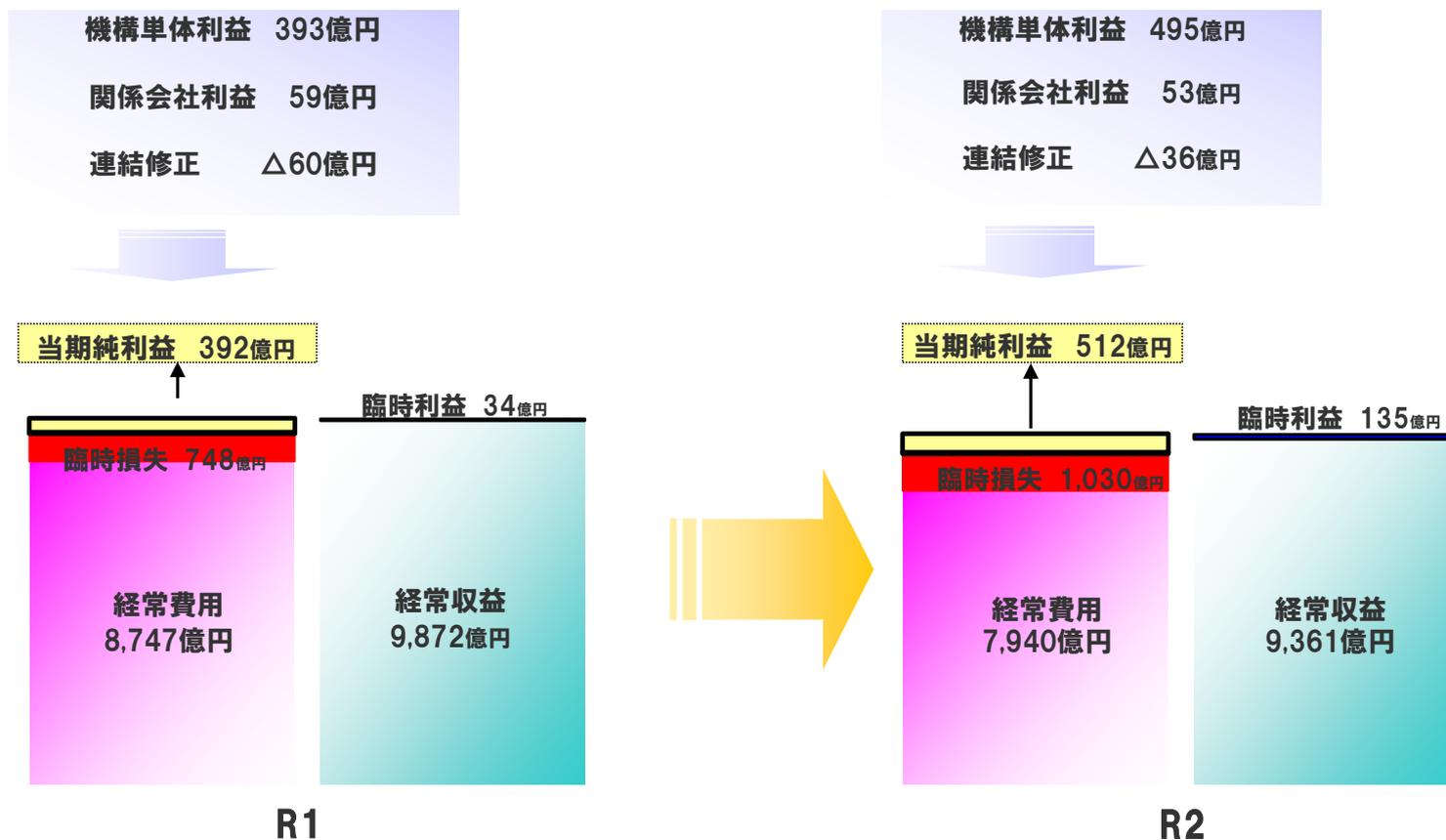
業務活動によるキャッシュ・フローは、家賃収入や敷地譲渡収入等を確保した結果、約3,000億円を計上し、有利子負債の削減に寄与。



(※)単位未満切捨て

3. 連結財務諸表(損益)

特定関連会社(3社)及び関連会社(10社)の計13社について、全部又は持分法連結を行った結果、**連結当期純利益は512億円**。



(※)単位未満切捨て